

# いたれりつくせり贅沢デイキャンプ

(福島県・北塩原村)

今回体験したのは、裏磐梯観光協会が中心となって始めたデイキャンププラン。1日1組限定で、専任のコンシェルジュがなんでもやってくれるという贅沢キャンプ。設営・撤収などの慌ただしさから解放されて、のんびりと自然を満喫できるのだ。

ご当地のマドンナが案内する最旬の外遊びガイド

日本全県アウトドア巡り

その19

福島県



今日のマドンナ

(右から)  
裏磐梯観光協会 小椋永里加さん  
裏磐梯ロイヤルホテル 坂内麻美さん  
裏磐梯レクリゾート 清岡奈緒さん



今日の案内人

野外計画 佐藤直行さん



このプランでコンシェルジュを務めてくれる焚き火からアクティビティまでなんでもこなすアウトドアマスター。環境安全プロジェクトでアルゼンチンに滞在した経験も持つ。

裏磐梯で働く元気女子たち。3人が揃うのは今回が初めてのことだったけど、キャンプを通じてすっかり仲良しに。「キャンプって楽しい!」を連呼していて、みんな満喫した様子。

もちろん手ぶらでもOK  
なんにもしなくても  
アツアツ料理が  
デデンと登場



火おこしから仕込み、調理までコンシェルジュの佐藤さんがすべてやってくれる。メニューはアツアツのローストチキン。もちろん「自分でやってみよう!」という人は、コンシェルジュのアドバイスを受けながら野外料理デビューも可能。

設置・撤収の手間がないから  
裏磐梯の自然をマツタリ満喫



コンシェルジュとの自然観察トレッキングを楽しんだり、焚き火に興じてみたり、ハンモックでウトウトしたり、思い思いに楽しめる。小雨がパラついてきたら、キャンピングハウスで女子トークを繰り広げるなんて楽しみ方も。



アクティビティーは全部で5種類!

このプランではカヌー・カヤック、シャワークライミング、トレッキング、ツリークライミング、焚き火という5つのアクティビティーから2つを選択することが可能。



左はここでしか買えない限定商品の「磐梯しばり」。淡麗辛口で冷やで飲むのがオススメ。右は会津産の餅米を使用した無添加、無加糖の甘酒「造り酒屋のあまごけ」。山登りの際に持っていく人も多いのだとか。



旅のお土産には  
会津の銘酒がオススメ

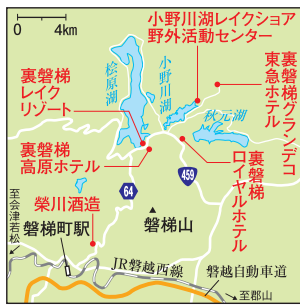


昔の蔵をそのまま利用した販売所「ゆっ蔵」では試飲しながら購入できる。希望者は酒蔵見学することも可能だ。

榮川酒造 ④福島県耶麻郡磐梯町更科中曾 根平6841-11 ☎0242(73)2300

撮影当日はあいにくの雨模様。普通のキャンプだったら、雨の中、テントやらタープやらの設置は正直いつて気が重い。ただ、今回のキャンプは豪華なキャンピングハウスが常設されているし、しかもコンシェルジュの佐藤さんが、料理の準備からタープなどの設置まで、すべてやってくれるという贅沢仕様なのだ。このプライベートキャンプツアーは、アクティビティーとデイキャンプがセットになっている。何をやるかは参加者の自由。カヌーやシャワークライミングなどのアクティビティーを満喫するもよし、何もせずに湖畔のキャンピングロッジでのんびりと自然を感じるもよし。人それぞれに自然を満喫できるのだ。参加してくれた3人は今回が初キャンプ。「キャンプって道具とかも揃えなきゃいけないし、女子だけだとなかなかできないんですけどね。」そんな3人がキヤアキヤア焚き火にハマっている横で、コン

シェルジュの佐藤さんはタッチオープンでローストチキンを手際よく作っていく。「あまりキャンプに親しむ機会がないお客さんにも、自然の中の楽しみを知ってほしくて」と佐藤さんは、3人のためにハンモックを吊りながらいう。たしかに、これだったらキャンプ慣れしていない年配者グループも、小さな子供連れでも気軽に楽しめる。実はこれ、キャンプ慣れた人間にとってもちょっと新鮮な体験だったりもしたのだ。普段のキャンプと違って設置・撤収の手間がないから、デイキャンプ特有の慌ただしさは一切なし。コンシェルジュという存在のお陰でいつもよりもマツタリとしたキャンプを楽しめるし、1日1組限定のプランだから、プライベート感もある。「ああ、こういうキャンプ最高」。いつもキャンプでは雑用担当の人間も、ハンモックに揺られながら良い夢を見られそうなのだ。



# キャンプイングリグハウスで 優雅に楽しむ ダッチオーブン料理

今回の、いたれりつくせりキャンプのメインディッシュはダッチオーブンでローストしたチキン。中までじっくり火が通っているから、お肉はもちろん付け合わせのジャガイモやタマネギなども中までホックホク。このプランでは食事の持ち込みが可能なので、それぞれが持ち寄った飲み物やデザートなどを盛りつけて、キャンプハウスに設置された屋根付きのウッドデッキでパーティーの始まり！ 3人とも、野外で食べる食事の美味しさに大感激なのだ。



キャンプシーンでは  
温冷兼用できる  
マグカップが便利

ドリンクだけでなく  
フルーツや  
ヨーグルトなどの  
食器としても活躍！



温・冷どちらでも使える真空断熱カップ。飲み物だけでなく、温かいスープなどを入れても良いし、アイスクリームなど冷えたものを入れるのにも向いている。  
真空断熱カップ／(右)JDD-401 400ml 3000円、  
(左)JDD-301 300ml 2500円



ステンレス製魔法びんと同じ真空断熱構造だから、温かいコーヒーも冷たいお茶もこれひとつでOK。荷物を増やしたくないキャンプでは、兼用できるマグカップがうれしい。  
保温マグカップ／JDC-351 350ml 3200円